

# 豊岡中学校校歌



田中瑞穂 作詞  
永井幸次 作曲  
昭和3年9月3日 制定

一 神武の御名に紀元をしのび  
常磐の色もゆかしき葉蔭  
和魂のいしぶみ立ちたる處  
元氣發洩學風揚る

二 群る雲の濟々多士は

こ、らの岩根に湧き立ち出でて  
青空高くも雄飛の姿  
仰ぐ我等の勇氣はきほふ

三 崩れずかけぬ龜城の御山

學の窓をおしてし立てり  
日に日に鍛へる智徳に體に  
至誠の熱血漲り溢る

四 細流擇ばぬ蓼川の水

汪汪よどまず清けく澄めり  
映して隈なき月影こそは  
心の鑑と我等を照せ

# 豊岡高等女学校校歌



吉岡吟藏 作詞  
吉田稔 作曲  
永井幸次 編曲  
大正10年4月21日 制定

一 惠の露にうるほひて

やさしく潔く睦まじく  
いや健やかに栄へゆく  
学びの庭のたのしさよ

二 円山川に照るつきの

くまなきかげを鑑にて  
来日が嶽に積む雪の  
きよき心をみがきてん

三 香具の菓のふる事の

縁りも深きたちばなの  
かほり床しき学舎に  
永久のさちあれ栄あれ

# 豊岡高等学校校歌



岡垣徹治 作詞  
木下保 作曲  
昭和28年2月10日 制定

一 群山の秀に湧く雲と  
諸人のこゝに学びて  
かぐはしき跡こそ残せ  
われら今きほひて集ふ

二 露霜に幾世か経たる

深緑窓に映るふ  
苔むせる碑のかげ  
尋め得たり眞澄の智慧を

三 あ、友よ眼あぐれば

はるかにも見さくる北に  
新世の希望の潮  
とよもして鳴るにあらずや

四 ほむらなし理想燃ゆるに

さ霧さへ雪さへ晴れぬ  
讚へなむわが豊高の  
とこしへにいよ、幸ふ